

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態																																																
助産学概論	1	前期	2	講義 30時間																																																
担当教員	志村千鶴子、吉田広美																																																			
授業概要	助産学の概念、意義について理解し、母子保健の動向と助産の歴史、制度、関連法規について学習する。また、助産師の役割、助産師業務の活動範囲・責務・職業倫理、生命倫理への理解を深める。また、国際的な母子保健の動向、助産の役割・機能・活動を学ぶとともに、今後の課題と助産師の在り方について考察する。																																																			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 助産学の意義・概念について理解する。 2. 母子保健と助産の歴史、動向、制度、関連法規について理解する。 3. 助産師の専門性、責務、職業倫理を理解する。 4. 助産師に必要な姿勢や態度を身につける。 5. 国際的な母子保健における動向と助産の役割・機能・活動を知り、今後の在り方を考えることができる。 																																																			
履修条件	特になし																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>助産学の概念と意義・歴史</td><td>志村</td></tr> <tr><td>2</td><td>助産師の教育</td><td>志村</td></tr> <tr><td>3</td><td>母子保健の歴史と変遷</td><td>志村</td></tr> <tr><td>4</td><td>母子保健の動向と今後の課題</td><td>志村</td></tr> <tr><td>5</td><td>母子保健の動向と今後の課題</td><td>志村</td></tr> <tr><td>6</td><td>母子保健・助産に関連する制度と関連法規</td><td>志村</td></tr> <tr><td>7</td><td>母子保健・助産に関連する制度と関連法規</td><td>志村</td></tr> <tr><td>8</td><td>助産師の定義と業務範囲</td><td>志村</td></tr> <tr><td>9</td><td>活動場所の特性と業務：助産の場</td><td>志村</td></tr> <tr><td>10</td><td>助産師の責務</td><td>志村</td></tr> <tr><td>11</td><td>助産活動と生命倫理</td><td>志村</td></tr> <tr><td>12</td><td>助産専門職団体の意義と活動</td><td>志村</td></tr> <tr><td>13</td><td>海外の助産師活動</td><td>志村</td></tr> <tr><td>14</td><td>周産期施設における助産業務管理</td><td>吉田</td></tr> <tr><td>15</td><td>周産期施設における運営</td><td>吉田</td></tr> </tbody> </table>				回	内容	担当教員	1	助産学の概念と意義・歴史	志村	2	助産師の教育	志村	3	母子保健の歴史と変遷	志村	4	母子保健の動向と今後の課題	志村	5	母子保健の動向と今後の課題	志村	6	母子保健・助産に関連する制度と関連法規	志村	7	母子保健・助産に関連する制度と関連法規	志村	8	助産師の定義と業務範囲	志村	9	活動場所の特性と業務：助産の場	志村	10	助産師の責務	志村	11	助産活動と生命倫理	志村	12	助産専門職団体の意義と活動	志村	13	海外の助産師活動	志村	14	周産期施設における助産業務管理	吉田	15	周産期施設における運営	吉田
回	内容	担当教員																																																		
1	助産学の概念と意義・歴史	志村																																																		
2	助産師の教育	志村																																																		
3	母子保健の歴史と変遷	志村																																																		
4	母子保健の動向と今後の課題	志村																																																		
5	母子保健の動向と今後の課題	志村																																																		
6	母子保健・助産に関連する制度と関連法規	志村																																																		
7	母子保健・助産に関連する制度と関連法規	志村																																																		
8	助産師の定義と業務範囲	志村																																																		
9	活動場所の特性と業務：助産の場	志村																																																		
10	助産師の責務	志村																																																		
11	助産活動と生命倫理	志村																																																		
12	助産専門職団体の意義と活動	志村																																																		
13	海外の助産師活動	志村																																																		
14	周産期施設における助産業務管理	吉田																																																		
15	周産期施設における運営	吉田																																																		
教科書	特に指定しない																																																			
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。																																																			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する準備状況や授業中の発言内容等による評価(30%) ・試験・レポート課題に対する成績(70%) 																																																			
事前・事後学習	<p>事前学習：提示された事前課題について調べておく。</p> <p>事後学習：授業内容を振り返り、提示された課題について考察し、レポートを作成し、提出する。</p>																																																			
備考	特になし																																																			